

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所  
 コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業統括推進本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清藤 勉  
 (氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	484	12.1	△101	—	△98	—	△35	—
27年3月期第3四半期	431	△1.1	△188	—	△142	—	△146	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △35百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年3月期第3四半期	△5.44		—	
27年3月期第3四半期	△22.43		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,978	—	2,576	—	86.5	—
27年3月期	3,138	—	2,619	—	83.2	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,576百万円 27年3月期 2,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	730	0.1	△115	—	△120	—	△55	—	△8.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	6,547,590 株	27年3月期	6,547,590 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,130 株	27年3月期	1,090 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	6,546,479 株	27年3月期3Q	6,547,328 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における、当社グループのセグメント別の業績は、下記のとおりとなりました。

## ・診断・試薬事業

研究用関連においては、代理店政策の変更が功を奏し、主力のEIA測定キットや抗体の自社製品の売上高は、順調に推移し、当第3四半期連結会計期間においては、前年と比較し大幅に増加いたしました。また、受託サービスにつきましては、当第3四半期連結会計期間において受注残高は増加傾向にあるものの当第3四半期連結会計期間での売上回復までには及びませんでした。さらに、第1四半期におけるタカラバイオ株式会社からの在庫買戻しによる返品処理の影響もありました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は258,347千円（前年同期比1.7%減）となりました。

医薬用関連においては、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットやマイコプラズマ感染症の診断薬原料の販売が、順調に推移したことやアルツハイマー病の診断薬原料として海外向けに販売されたことにより、売上高が増加いたしました。その結果、売上高は89,730千円（前年同期比35.5%増）となりました。なお、当事業では、新規治療薬シーズの研究開発や体外診断用医薬品に向けた製品開発を進めており、ラテックス凝集法を用いた「LPL ラテックス-IBL」を開発し、体外診断用医薬品として国内での製造販売認証を取得いたしました（平成27年9月16日公表）。

その結果、研究用関連、医薬用関連を合わせた当セグメントの売上高は348,077千円（前年同期比5.8%増）、営業利益は60,379千円（前年同期は40,095千円の営業損失）となりました。

## ・遺伝子組換えカイコ事業

研究用タンパク質の受託生産等の売上が順調に計上されましたが、大手体外診断用医薬品企業からの抗体受託サービスの売上が、第4四半期以降の計上予定となりました。また、当第3四半期連結会計期間において、共同研究契約先からマイルストーン契約金の収入が計上されました。その結果、当セグメントの売上高は53,614千円（前年同期比247.4%増）、営業損失は104,330千円（前年同期は58,713千円の営業損失）となりました。なお、当セグメントにおいては、将来に向けた重点的な研究開発等を積極的に進めるために、医薬品原料の生産拠点及び付属設備への投資を行い、生産体制の構築を進めてまいります。なお、アステラス製薬株式会社と進めているフィブリノゲンの共同研究は、継続して進行しており、医薬品原料として生産するためのGMP対応を踏まえたパイロットプラントの建設を開始しております。また、平成27年8月31日「遺伝子組換えカイコによるラミニン511-E8生産の成功とiPS細胞等培養用試薬としての実用化に向けた取り組みのお知らせ」のとおり、iPS細胞等の培養足場材として有効であるヒトラミニン511-E8フラグメント（ラミニン511-E8）を遺伝子組換えカイコを用いて生産することに成功し、ラミニン511-E8の独占的販売権を有する株式会社ニッピと研究用試薬の販売へ向け、準備を進めております。

## ・検査事業

当事業の主力である、ゲルろ過HPLC法を応用したシステムにより、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス（Lipo SEARCH）においては、第2四半期に受注が落ち込みましたが、新規顧客獲得キャンペーンや学会出展のプロモーションが奏功し、当第3四半期は、第1四半期と同程度まで回復しております。また新規の治験関連大型案件の分析受託に関する提案・交渉を継続して進めております。非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）関連研究・開発向けに、9月より案内を開始した血中遊離コリン測定サービスは、製薬企業等から順調に引き合いを得ており、初めての成約案件を獲得いたしました。また、動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス（Lipo TEST）は、同市場における競合サービスとの競争や年末の来院数減少等により、受注が伸び悩みました。その結果、当セグメントの売上高は74,618千円（前年同期比5.8%減）、営業損失は24,779千円（前年同期は33,201千円の営業損失）となりました。

## ・化粧品関連事業

当社グループが販売する、化粧品原料「ネオシルク®-ヒトコラーゲンⅠ」の知名度や理解度のアップを図るため、前年に引き続き平成28年1月20日開催の化粧品開発展に出展し、さらに、同展示場において、「ネオシルク®-ヒトコラーゲンⅠ」のセミナーを開催いたしました。また、「ネオシルク®-ヒトコラーゲンⅠ」配合化粧品「フレヴァン」の会員様ヘリピーター率の向上を図るため、ダイレクトメールや電話によるアウトバウンド等の活動を継続して実施しております。その結果、当セグメントの売上高は11,282千円、（前年同期比20.8%増）、営業損失は31,991千円（前年同期は58,560千円の営業損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、484,375千円（前年同期比12.1%増）となりました。利益面においては、診断・試薬事業において販売契約変更等で収益性が向上しておりますが、遺伝子組換えカイコ事業の

研究開発や新規パイロットプラント建設のための費用が増加し、営業損失が101,568千円（前年同期は188,331千円の営業損失）、経常損失が98,757千円（前年同期は142,930千円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失におきましては、投資有価証券売却益の計上（平成27年5月1日発表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」参照）により35,629千円（前年同期は146,884千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（財政状態に関する分析）

### ・資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比5.1%減の2,978,652千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

パイロットプラントの前橋研究所の建設に伴い「建設仮勘定」が345,096千円増加しておりますが、一方その支出や借入金の返済、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により「現金及び預金」が327,251千円減少しております。また、株式の売却により「投資有価証券」が100,800千円減少しております。

### ・負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比22.4%減の402,314千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

タカラバイオ株式会社からの返品の実現に伴い「返品調整引当金」が38,738千円の減少及び一年内返済予定長期借入金を含めた「長期借入金」が約定弁済により77,826千円の減少となっております。

### ・純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比1.7%減の2,576,337千円となりました。この主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,284,342	957,090
受取手形及び売掛金	248,943	203,787
商品及び製品	54,543	58,453
仕掛品	122,942	120,048
原材料及び貯蔵品	89,654	101,997
その他	25,917	17,459
流動資産合計	1,826,344	1,458,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	474,760	452,370
機械装置及び運搬具(純額)	17,591	15,049
土地	362,687	362,687
建設仮勘定	-	345,096
その他(純額)	80,566	66,829
有形固定資産合計	935,606	1,242,033
無形固定資産		
のれん	165,920	159,101
その他	26,013	23,339
無形固定資産合計	191,934	182,441
投資その他の資産		
投資有価証券	121,482	20,682
その他	62,672	74,659
投資その他の資産合計	184,154	95,341
固定資産合計	1,311,695	1,519,816
資産合計	3,138,040	2,978,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,898	17,887
1年内返済予定の長期借入金	102,368	84,608
返品調整引当金	38,738	-
その他	87,475	74,284
流動負債合計	233,480	176,780
固定負債		
長期借入金	283,220	223,154
その他	1,773	2,380
固定負債合計	284,993	225,534
負債合計	518,473	402,314
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,846,099	1,846,099
資本剰余金	878,479	878,479
利益剰余金	△110,621	△146,251
自己株式	△1,942	△1,990
株主資本合計	2,612,015	2,576,337
新株予約権	7,551	-
純資産合計	2,619,566	2,576,337
負債純資産合計	3,138,040	2,978,652

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	431,957	484,375
売上原価	219,075	182,150
売上総利益	212,882	302,224
販売費及び一般管理費	401,213	403,792
営業損失(△)	△188,331	△101,568
営業外収益		
受取利息	3,860	153
助成金収入	15,000	3,285
為替差益	13,379	—
その他	15,137	1,234
営業外収益合計	47,378	4,673
営業外費用		
支払利息	1,953	1,581
為替差損	—	281
その他	23	—
営業外費用合計	1,977	1,862
経常損失(△)	△142,930	△98,757
特別利益		
投資有価証券売却益	—	69,566
特別利益合計	—	69,566
特別損失		
のれん償却額	6,506	—
その他	160	—
特別損失合計	6,667	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,597	△29,191
法人税、住民税及び事業税	4,284	6,438
法人税等合計	4,284	6,438
四半期純損失(△)	△153,882	△35,629
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,997	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△146,884	△35,629

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△153,882	△35,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,344	—
その他の包括利益合計	7,344	—
四半期包括利益	△146,538	△35,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,540	△35,629
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,997	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。